

# 加工食品輸出における代替添加物の利用促進



令和4年6月28日  
農林水産省大臣官房審議官(輸出・国際局)  
道野 英司

# 食品添加物の使用食品等



画像	カテゴリー	原材料
	菓子 (チョコレート)	砂糖、植物油、全粉乳、乳糖、カカオマス、ココアバター、クレーミングパウダー、いちごパウダー、脱脂粉乳、りんご果汁パウダー、トレハロース、乳化剤、香料、酸味料、 <b>紅麴色素</b> 、(一部に乳成分・大豆・りんごを含む)
	菓子 (クッキー)	小麦粉、砂糖、ショートニング、ぶどう糖、植物油、全粉乳、ホエイパウダー、抹茶、食塩、あずきパウダー、デキストリン、乳化剤 (大豆由来)、香料、膨脹剤、 <b>クチナシ黄色素</b> 、カラメル色素、アカビート色素、ビタミンC、 <b>クチナシ青色素</b>
	菓子 (キャンディー)	水あめ、砂糖、植物油、ゼラチン、濃縮アップル果汁 (グラニューブドウ 5.6%、王林 4.4%)、アップルジャム、酸味料、乳化剤、香料、 <b>ベニバナ黄色素</b> 、 <b>クチナシ青色素</b>
	氷菓	りんご果汁、異性化液糖、香料、酸味料、甘味料 (アスパルテーム-L-フェニルアラニン化合物、スクラロース)、ポリリン酸Na、 <b>ベニバナ黄色素</b> 、 <b>クチナシ青色素</b> 、シリコーン
	水産加工品	魚肉、卵白、砂糖、食塩、かにエキス、醸造酢、でん粉、植物せんい、植物油、加工でん粉調味料 (アミノ酸等)、 <b>紅麴色素</b> 、pH調整剤、V. C、香料、V. D、(原材料の一部に小麦、卵、大豆を含む)
	ホットケーキ ミックス	[ホットケーキミックス] 小麦粉、砂糖、粉末水あめ、食塩/加工でん粉、ベーキングパウダー、香料、増粘剤 (キサンタンガム) [抹茶みつ] イソマルトオリゴ糖、水あめ、抹茶/着色料 ( <b>ベニバナ黄色素</b> 、 <b>クチナシ青色素</b> )、香料、増粘剤 (ペクチン)

# 加工食品輸出における代替添加物の利用促進

## 令和3年度の取組：添加物に関する輸出事業者の意見把握～GFP加工食品部会～

### 添加物対応勉強会（2021年10月26日実施）596名参加

- 着色料規制が最も厳しく、特にベニコウジ、クチナシ（青、黄）色素に対する規制への課題感が大きい一方、海外での認可された合成着色料に活路の可能性がある。
- 添加物課題解決に向け、輸出に関わる事業者が横串で連携できるプラットフォームが必要

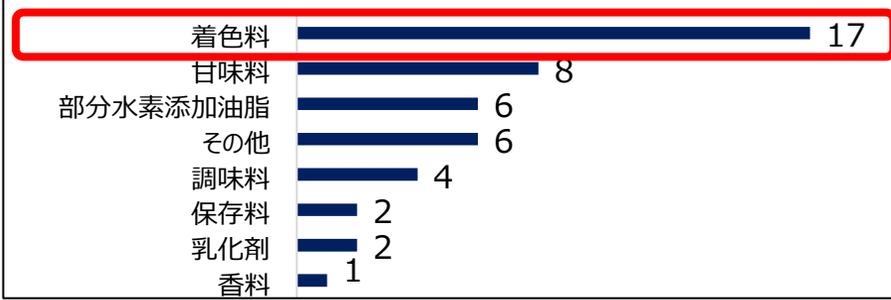


### 事業者ヒアリング（2021年5月～2022年1月）

- 天然系の色素は海外では許可されていない場合が多く、合成着色料に切り替えたいが、対応する合成着色料が不明であり、また対応事例が不足。
- 国内は合成着色料を嫌うため、国内の主力商品は合成着色料に変えられない
- 合成着色料の方が、コストを抑えられ、退色しづらいことから、賞味期限の延長に繋がる

### 事業者アンケート（2021年9月17日～10月1日実施）

- 最も課題となっている添加物としては着色料が圧倒的に多く、甘味料、調味料等が続く
- 規制対応を行っている事業者では、代替添加物使用による対応割合が約6割と最も多い



事業者が輸出先国の代替添加物を容易に利用できるよう具体的な対応策を検討

## 令和4年度の取組：代替添加物の利用促進～「加工食品の国際標準化事業」～

【具体策】令和4年度の取組として、

- 輸出先の規制に対応した着色料を検討する際に役立つ「**国別・添加物種別の早見表**」を作成（農水省食品製造課、食品産業センター、日本食品添加物協会が連携）
- GFP加工食品部会「**添加物セミナー**」を開催、また、専門家と**添加物メーカーとのマッチング**支援
- 先進事業者の添加物切替等の**対応事例集**を作成

### 早見表

### 対応事例集

# (ご案内) 農水省HP : EUの食品添加物データベース

農林水産省

English > ミニサイト > サイトマップ 文字サイズ 標準 大きく

逆引き車庫から探す 組織図から探す キーワードから探す Google 検索

会見・報道・広報 政策情報 統計情報 申請・お問い合わせ 農林水産省について

## EUの食品添加物データベース

最終更新日: 令和4年6月21日

### 1. EU食品添加物データベース（和訳）とは

EUでは、EUでの食品への使用が認可されている食品添加物とその使用条件に関する情報を得るためのツールとして利用できるデータベース ([https://webgate.ec.europa.eu/foods\\_system/main/?event=substance\\_view&identifier=1](https://webgate.ec.europa.eu/foods_system/main/?event=substance_view&identifier=1)) を公開しています。これはRegulation (EC) No 1333/2008のAnnex IIIに掲載されているEUの食品添加物リストに基づくものです。  
農水省では、国内の事業者向けにこのデータベースを和訳して取りまとめました。本データベースをご利用に当たっては、規制の概要やデータベースの使い方について、以下ガイドを参考にご活用ください。

- ガイド: EU食品添加物規制ガイド(PDF: 385KB)
- 資料1: EU食品添加物（和訳）について(PDF: 355KB)

農水省Webページ:

[https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/eu\\_add\\_data.html](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/eu_add_data.html)

## (B) 食品添加物名から検索する場合

① **Ctrl** + **F** →

② 調べたい添加物名を入力

③ 使用できる食品カテゴリ、条件等を確認する。

Excelで検索可能なデータベース

食品添加物

## (A) 食品カテゴリから検索する場合

輸出したい食品のカテゴリ分類を調べて※、検索フィルタで絞り込む

(例) チューイングガム

- 大項目: 菓子類
- 中項目: チューイングガム
- 小項目: 空欄
- 細項目: 空欄

※ シート2\_食品カテゴリー一覧  
又は、資料3: 食品カテゴリーガイダンス

食品カテゴリ

### 【注意事項】

本データベースは調査時点(22年3月)の情報です。また、個々の添加物の規格など詳細な情報は含まれていません。輸出される際には、輸出先の最新情報と詳細情報をご確認ください。

**GFP加工食品部会「添加物規制対応セミナー」**

**添加物対応に向けた論点と対応の方向性  
（“添加物対応プラットフォーム”の構築）**

**アクセンチュア株式会社**

**2022年6月28日**

# GFP加工食品部会/分科会の設置

加工食品輸出に特化した部会を設置、品目・テーマ等別に実施される分科会のもと、課題の検討や解消に向けた取組を推進。



← 重点品目別に議論・課題解消に向けプロジェクトを組成 (必要に応じて、分科会メンバー以外の事業者・商社・物流業者等も参画) →

本会は“添加物対応”をテーマとした分科会として実施

# 今年度の加工食品部会関連のイベント予定

本日

- 添加物セミナー & マッチング

7/6  
7/7

- 木桶仕込み味噌輸出促進コンソーシアム研修会 & マッチング

7月下旬～

- 国別分科会①～GFP国別輸出塾【米国(7/26,8/30)、中国(8/1,9/7)】

8月下旬～

- 賞味期限延長勉強会

順次開催  
予定

- 加工食品クラスター分科会
- フードテック分科会
- 菓子分科会：和菓子・スイーツ輸出
- 国別分科会②：ハラール対応(マレーシア等)
- 補助活用事業者の視察ツアー & マッチング

# 本日のセミナーの狙い

添加物対応に向けたプラットフォームとしての役割を担うべく、関連主体からの情報発信・マッチング機会を提供させて頂く。

## 添加物規制の対応方向・ 対応事例集の整理

- 海外で使用可能な添加物のリサーチ・添加物メーカー・有識者へヒアリング
- 輸出向けに代替添加物を使用している食品メーカー等の事例リサーチ
- 上記を踏まえた添加物対応の方向性を検討・対応事例集を作成

## 添加物対応勉強会 (2022/10/26)

- 課題認識を有するメーカーに対して対応の方向性を共有・規制対応の実現に向けたハードルを議論(約600社参加)
- 添加物対応に活用可能な補助事業の活用に向けて、メーカーの輸出事業計画への反映を支援

## 添加物対応セミナー & マッチング(本日)

- 添加物規制に係る知識を幅広く周知するとともに、業界団体による取組等について発信
  - 着色料規制の早見表の公開も実施
- 添加物対応の窓口(プラットフォーム)としての役割を担うべく、添加物メーカー・有識者とのマッチング

# 海外規制に合わせた添加物対応の方向性

各国への既存添加物の許認可取得は難易度が高く、海外規制に合った代替添加物の活用が直近の対応として必要。

海外の基準に適合した  
代替添加物・代替手法の採用

難易度



既存添加物の各国認可

## 現状

- 添加物の代替や、添加物を「**不使用**」にて**対応**する食品メーカーが多数存在
  - 保存料については包材等代替添加物以外の対応事例も有
- **部分水素添加油脂不使用**のショートニングや乳化剤の開発事例有

- **既存添加物のデータ収集**を行い、**各国への認可申請**を推進中
- **クチナシ青色素等**の規制添加物について、代替色素を開発するメーカーも存在

## 課題

- 国により添加物規制が異なり、**情報の収集・代替添加物の探索**が難しい
  - 代替先候補が少ない添加物も存在
- **天然由来の色素以外を自主規制**するケースも有、統一規格商品の展開が困難

- 添加物×用途により米国**GRASの申請に必要な安全性データ**が異なる
- 安全性データの収集には**億単位の費用**が必要、CODEXは常時**認可待ち**の状態 で時間を要する

# ハードルとなっている添加物規制

国ごとの規制添加物やその添加物を使用する品目は以下の通り。特にクチナシ青色素・ベニコウジ色素がハードルとなっている。

主に課題となる国	添加物名称	主な使用品目
米国・オーストラリア・EU 台湾・ベトナム	クチナシ青色素/黄色素	菓子・麺類・清涼飲料水・調味料等
米国・中国・香港・台湾	ベニコウジ色素・ ベニバナ色素	菓子・麺類・清涼飲料水
米国・香港・英国	コハク酸ナトリウム	調味料(マヨネーズ等)
米国・台湾・ オーストラリア	乳化剤 (脂肪酸エステル等)	清涼飲料水・菓子
米国・英国	トランス脂肪酸 (部分水素添加油脂)	菓子・その他加工食品(レトルトカレー等)

# 添加物対応に関する課題 ～事前アンケート結果

情報の収集～輸出可否判断に課題のある事業者は多く、複雑な規制情報を簡便に確認し得るツールや相談体制が必要。

## 取組の“入り口”(情報収集～輸出可否判断)の課題を認識

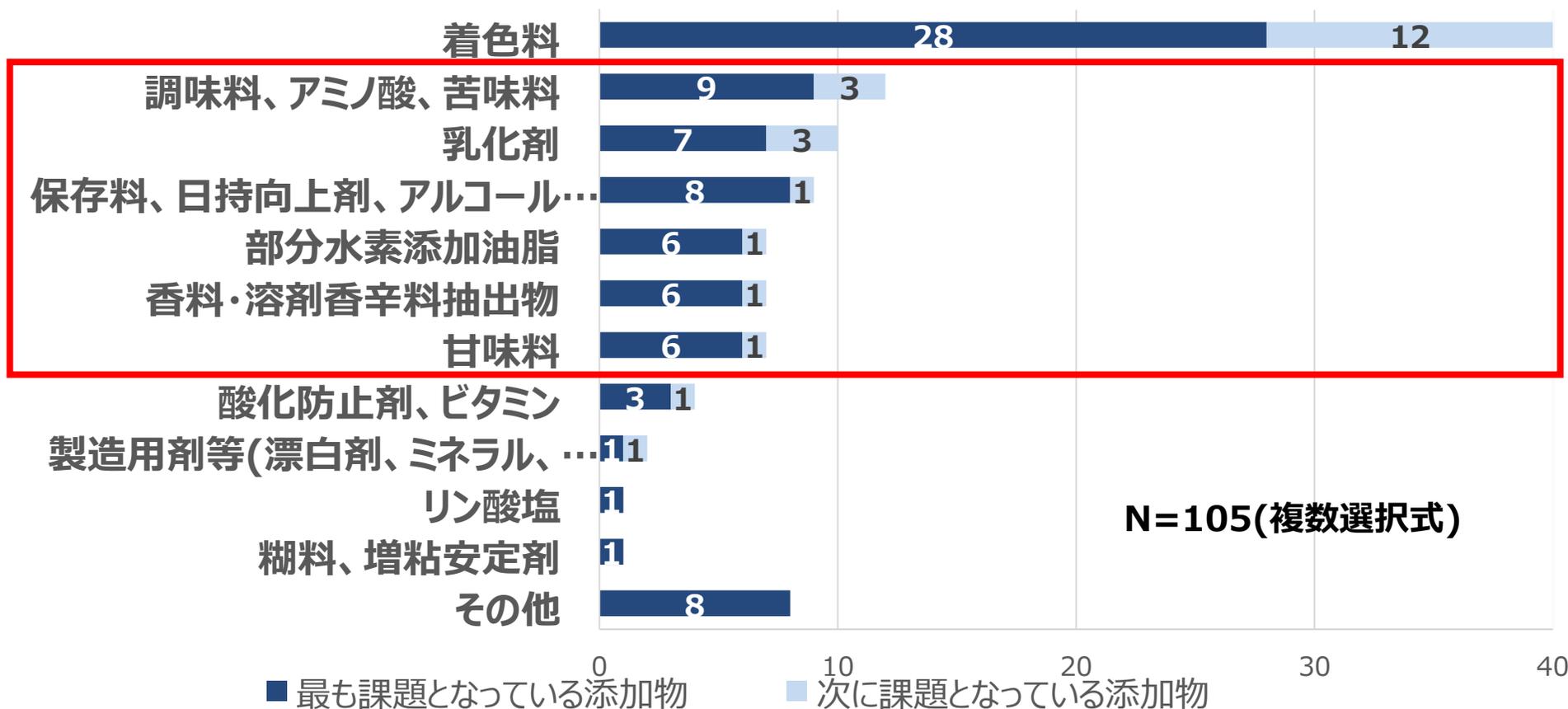


N=105(複数選択式)

# 対応すべき添加物の多様さ ~事前アンケート結果

多くの事業者において課題となる着色料だけでなく、調味料・乳化剤・保存料・香料等も一定の課題認識が存在。

## 着色料以外にも、多様な添加物に課題が分散



# 対応すべき添加物の多様さ ~乳化剤・香料の事例

乳化剤については、用途の多様性により使用可否の判断が複雑になっている。香料に関しては、成分情報の秘匿性が高い。

## 乳化剤：用途×成分による複雑性

- 乳化剤に関しては、成分規格そのものだけでなく、用途が極めて多岐にわたり、国×用途×規格の組み合わせにより課題が複雑化



食品メーカー(飲料)

- 多様な用途で使われている他、乳化剤が含まれている原料を使用されるケースは多く、どこまでトレースしていくか判断が難しい



食品メーカー(菓子)

## 香料：成分詳細の把握が困難

- 「香料」の情報に関しては、香料メーカー側も使用成分の開示が不可。開示されても抽象的な表現に留まっている



食品メーカー(菓子)

- 香料の成分に関しては、添加物の中でも特に製造企業において秘匿性が強く、輸出可否の判断は香料メーカーに一任となる



輸出商社

# 添加物対応プラットフォーム（構想）

情報収集・輸出可否判断の相談等に向け、多様な主体による総合的な課題解決が可能なプラットフォームの構築を目指す。

加工食品メーカー・団体

分科会参加、輸出産地リスト登録、輸出事業計画策定

## GFP加工食品部会「添加物対応プラットフォーム」

各国における  
添加物の規制  
動向共有

自社製品の  
輸出可否を確認

代替添加物/  
代替手段の提案

対応事例の横展開/  
共同プロジェクト  
の企画・実行

課題に応じた有識者とのマッチング

コラボレーション・共同プロジェクトの促進

農林水産省

JETRO

業界団体

輸出商社

先進  
食品メーカー

添加物  
メーカー

# 添加物対応プラットフォーム ～各主体の対応範囲

	情報提供・輸出可否判断	代替手法の検討
JETRO	<ul style="list-style-type: none"> <li>規制等に関する基礎情報の提供</li> <li>各国における規制動向共有・製品の輸出可否確認</li> </ul>	—
日本食品添加物協会	<ul style="list-style-type: none"> <li>添加物の海外規制に関する情報提供・輸出可否確認</li> </ul>	—
添加物メーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>(自社添加物中心)規制に関する問合わせ対応・商品の輸出可否確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一部添加物の代替提案</li> <li>製品開発段階における技術協力</li> </ul>
輸出商社	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地インポーターと連携した、輸出対象国ごとの詳細情報提供</li> <li>既存商品の輸出可否確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の加工食品事業者との対応事例の横展開</li> <li>一部添加物の代替提案</li> </ul>
先進加工食品メーカー	<ul style="list-style-type: none"> <li>可能な範囲での代替事例の共有</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>同左</li> </ul>

# 各主体の役割 ① 業界団体

煩雑な各国の添加物規制情報を集約、情報収集のハードルを下げるツールとして、規制情報の早見表サイトを製作中。

## 添加物規制対応の“入り口”としての規制情報発信・相談窓口機能

日本食品  
添加物協会

&

食品産業  
センター

和名	英名	色	日本	アメリカ	EU (英国内産)	中国	韓国
黄褐色素	Annatto Extract	赤	既存	21CFR§73.30 E150(a) E150(b)	E150(a) E150(b)	CNS08.144	○
黄色素	Turmeric Oleoresin/Curcumin	黄	既存	21CFR§73.800 §73.815	E100	CNS08.132/CNS08.102	○
Ⅰカラメル	Plain Caramel	茶	既存	21CFR§73.85	E150a	CNS08.109	○
Ⅱカラメル	Sulfite Caramel	茶	既存	21CFR§73.85	E150b	CNS08.151	○
Ⅲカラメル	Ammonia Caramel	茶	既存	21CFR§73.85	E150c	CNS08.110	○
Ⅳカラメル	Sulfite Ammonia Caramel	茶	既存	21CFR§73.85	E150d	CNS08.109	○
トシ青色素	Gardenia Blue	青	既存	x	x	CNS08.123	○
トシ赤色素	Gardenia Red	赤	既存	x	x	x	○

- 主要11カ国に係る、添加物の使用基準、成分規格等を集約
- 添加物名称×国×使用量に基づき、輸出可否を判断する機能を実装見込
- リリースに向けたテスト運用後、令和4年11月頃リリース予定

本日  
講演

- ✓ 海外添加物規制に係る情報収集ツール(早見表)の取組紹介
- ✓ 添加物規制に係る概観/より課題が複雑な添加物に係る解説

# 各主体の役割 ②先進加工食品メーカー

国内商品との統一に向けた取組、補助事業を活用した生産体制の強化等、先進メーカーによる取組事例の横展開を図る。

実際の添加物対応の取組・輸出実績について紹介、事例を共有

## 【丸京製菓】



- 部分水素添加油脂や膨張剤、着色料等、多様な添加物へ対応、国内商品との統一も推進

## 【春日井製菓】



- 着色料をはじめ、原料メーカーとの密な連携により代替対応を円滑化
- 補助事業を活用し、輸出用商品の生産体制を強化

本日  
講演

✓ 着色料をはじめ、海外添加物規制に対応し輸出を行っている事例/事業者連携や補助事業活用の取組等

# 各主体の役割 ③JETRO/輸出商社

JETROポータルサイト等の活用や、商社等の知見・ネットワーク等、関連事業者との連携も効率的な情報収集のポイントとなる。

効率的な情報収集に向けては、JETROや商社の知見・ネットワーク活用も肝

## <得意分野>

## <取組・支援事例>

JETRO

- 添加物規制に関する基礎情報の提供

- JETROポータルサイト上における、国別・品目別規制情報の発信

輸出商社

- インポーターと連携した、現地での詳細な規制情報の提供

- 現地の規制当局とのコミュニケーションの蓄積を活かし、チェック項目等をデータベース化

本日  
講演

- ✓ JETROが行う輸出支援の一環としての、規制情報発信の取組
- ✓ 商社としての食品添加物規制に対する取組事例

# 添加物対応推進に向けた今後の取組方針

より複雑な添加物課題に関して情報の収集等を支援する仕組みの検討、また事業者間での連携を促していく契機の創出を図る。

□ 着色料に続き、より規制が複雑な添加物(乳化剤等)に関して情報収集に寄与するツール・情報集約の取組を検討

➤ 「**早見表**」の**次フェーズの取組**に向けて、検討を継続

□ 添加物対応を行いたい加工食品メーカーと、取組を支援可能な商社や添加物メーカー等との協業・マッチングを積極的に支援

➤ 本セミナー終了後に実施するマッチング会(合同相談会)をはじめ、**事業者間連携の契機**を幅広に創出

# (参考) GFP国別輸出塾のご案内

有望市場かつ、添加物規制等のハードルが高い米国・中国に係る「輸出塾」(セミナー・GW・商談会)を開講予定。

## GFPアメリカ輸出塾



## GFP中国輸出塾



### 実践的な輸出知識習得～商談会による輸出機会創出までサポート

#### 開催日

- ・ 2022年7月26日(火)、8月30日(火)
- ・ 2022年8月1日(月)、9月7日(水)

#### 概要

- ・ 輸出課題の解決、自社に合った輸出スタイルを検討するための情報を**全体セミナー形式**で提供
- ・ 講師(商社等)を交えて**グループワーク**を行い、輸出に向けた留意点を把握した上で、方向性を検討
- ・ **商社・海外バイヤー**とマッチングし、**商談会**を行うことで、早期輸出に直結

#### 輸出論点

- ・ **添加物規制**、食品安全基準・認証(FSMA等)
- ・ オーガニック等のトレンドを取り入れたニーズ対応
- ・ 地域性/人種等の特性に応じた商流・物流構築
- ・ プロモーション・ブランディング 等
- ・ **添加物規制**、企業番号登録等の規制・認証
- ・ 模倣品対策や贈答・団体購買需要等への対応
- ・ 現地パートナー連携も含む商流・物流構築
- ・ EC、インフルエンサー/KOLによる販売戦略 等